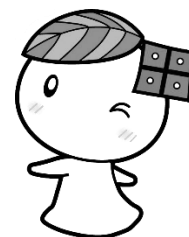


生野区★中学生news



いくみん



先日、『脱獄ごっこ×生野っこe-スポーツチャレンジ!!』というイベントを開催し、『脱獄ごっこ』の5vs5モードでリーグ戦を戦いました。区内の中学校から参加してくれて嬉しかったです。動画⇒当日の様子やプロゲーマーの話などの動画を公開しています。 生野区長 山口照美



ネットの向こうには「人」がいることを忘れずに！

先日実施したe-スポーツイベントは「オンラインゲーム」による対戦で、参加者はZoomというネット会議システムで日本中から参加できました。みなさんの中にも、SNSやオンラインゲームを見知らぬ人とつながってやっている人もいます。今回、一緒に対戦していることもたちの姿がリアルやオンラインで見える形でやったので、「ニックネームのついたゲームのキャラ」を動かしている「人」が初めて見えたことになります。

中には小学校低学年でめちゃくちゃ強い子がいて、キャラだけ見ていたら「ええっ!こんな小さい子なの!」とびっくりします。ネットの普及で、匿名で世界中の人と会話やゲームが楽しめるようになりましたが、その向こうに心を持った「人」がいるという想像力を失ってはいけません。

『脱獄ごっこ』はチャット機能もありませんので、トラブルの起きにくいゲームですが、オンラインゲームやSNSの世界では「言葉による攻撃」でトラブルが見られます。



SNSやオンラインゲームという「ツールが悪いから禁止」では解決しません。今回、ゲームを題材にイベントをしてチームで声を掛け合いながら陣取りをしていることも達の楽しそうな姿を見て、「ツールが悪いのではなく、使い方が大事」だと感じました。対面で言えないこと、人ごみの中で見知らぬ人に言えないことは、言葉にして投げつけてはいけません。ネットの向こうには「人」がいる想像力を持って、使いこなしてほしいと願います。



読書のススメ

『10代から知っておきたい

あなたを閉じこめる「ずるい言葉」』

森山至貴/WAVE出版

この本を紹介するのは、大人として勇気がいります。「相手に悪気はないんだから、がまんしなさい」「はっきり言わないあなたが悪い」……あれ?おかしいな。被害を受けたのは私なのに、なぜ私が悪いことになってるんだらう?こういうずるい言葉を使う大人もいますし、もしかしたら仲間同士で使ってしまうかもしれない。

言葉の怖さと対処法について、わかりやすく書かれた本です。



ちょこっとNEWS

ものづくり・まちあるきの魅力が詰まった2日間

いくの「みんなの文化祭」

11月21日(土)・22日(日)ともに10時~16時

会場:もと鶴橋中学校(体育館および

校庭(桃谷中学校 第2グラウンド))

生野区のランドセルやサンダルメーカーなどのものづくり企業による出店や、区内の作家や creema の作家による作品販売、まち歩きスタンプラリーなどが開催される予定です。生野のものづくりやまちの魅力を再発見しよう!

最新情報はこちら⇒

(主催:一般社団法人いくのもり)



10代のための相談窓口まとめサイト

ミークス で 検索 <https://me-x.jp/>